

# 余暇のひととき

文化協会より

## 川柳

△川柳鹿の子吟社▽

まだ回る独楽こまで自信がある余生  
 踏ん切りがついて駆けだす向い風  
 乳児にも笑いのツボがあるらしい  
 親の夢消して子供は育ちゆく  
 台所喜怒哀楽を友とする  
 名優が逝って名演称えられ  
 待人が来らず一句ひねっとく

大西 静峰  
 片山 辰巳  
 古本 鈴代  
 杉田 温州  
 中川 まさ子  
 程内 玄雄  
 結城 とときえ

## 短歌

△水沼短歌会▽

大いなる夢の医療は近付けり i P S に命買へる日  
 里道の改修大正三年と石碑せふみの文字は未だ朽ちざり  
 青梅の香りほのかに漂いて喉をうるおす食前酒となる  
 清流の森林鉄道をめぐりゆけば花芽の固くみつまたに逢ふ  
 ロープウエーに乗ればすぐ着く山頂駅千光寺公園の春の陽のなか  
 うす紅のさるすべりの花咲き初めぬ畑の岸に亡姑ははの遺世  
 かくし味料理だけでは勿体ない人間にこそほしい一味  
 庭池に陽射し満つれば開き初む菖蒲しょうぶ一輪深き紫  
 あかときわが庭にきて山鳩のくぐもりて鳴く声に目覚めぬ

谷 静雄  
 生田 八壽子  
 井関 恭子  
 黒田 登代子  
 芝 征世  
 竹城 美智代  
 土居 シゲ子  
 毛利 百合子  
 山田 田鶴

## 俳句

△吉田俳句協会▽

和太鼓に怒りぶつける原爆忌  
 里山の揚羽あげに今日も迎へらる  
 走馬そうま燈とうまはるも淋し止めばなほ  
 葛切くずきりや姑との縁えに呼び起こす  
 蛇口より水ほとばしる廣島忌  
 どの子にも向日葵ひまわりの咲く瞳かな  
 盆場所といふ闘牛の取組表  
 星合ほしあひに人恋ふ筆を執りにけり  
 こめかみに残る怒りや廣島忌  
 盆唄ぼんうたのとどけや沖の遭難碑  
 新霊あらみたま鎮めて迅はやし施餓鬼せがき船  
 母の齢二倍も生きて門火焚く  
 一億の声なき声きく終戦日  
 金時の腹掛はらかけが這はふ夏座敷  
 空海に似し八坂寺の夏遍路

井上 志津  
 村玉 隆子  
 児玉 清江  
 高崎 洋子  
 二宮 美  
 青野 ひろ  
 加賀 城 燕雀  
 茅田 春恵  
 稲瀬 奈加 枝  
 辻 朝海 渚  
 山下 未紗  
 土居 はる実  
 水谷 八代  
 加賀山 京子  
 浜田 京子

△桃李▽

花筵はなむしろ固こより音痴など平気  
 花菱はなごぎや母は絵本を読み聞かせ  
 外出は真赤なベレー春兆す  
 春嵐家計簿つけて独り言  
 片付かぬ机に向かひ初日記  
 ひとり言に猫の返事の冬日向  
 就中なつか蚪との大きがよく動き  
 あちらには逢ひたき人も天の川  
 春嵐雪混ぢり来て母逝きぬ

齊藤 真人  
 荒川 元子  
 横山 博子  
 菊地 滋子  
 大野 千枝  
 今城 夏枝  
 宇都宮 千賀  
 竹田 有佐  
 谷岡 武城